

東大阪市指定文化財 旧河澄家 ニュースレター

2020年12月発行

vol. 18

かわすみ家



薬の原料となる、乾燥させて固くした草木や種子や穀物などをすりつぶす道具 薬研 yagen

特集 / 企画展示

昔の道具展

昔の道具体験会

pick up!

万葉の花写真展・講演会

祭礼展

歴史コラム

日下の嘶「丹波神社と御所ヶ池」

河澄家の自然 梨

展示・イベントのご案内

河内の古民家展
河内の古民家組合や和山本協会の協力を得て河内河内町民会館で展示を行います。
江戸時代初期に造られた築山本館を眺めながら古民家の昔風風を楽しんでみませんか。
展示期間：2021年1月15日(金)~2月14日(日)

古民家再生講座
古民家の歴史や再生活動・事例について学ぶ講座
日時：2021年1月24日(日) 13:00~13:30
場所：旧河内町民会館
定員：20名
講師：中川 智哉 / 大阪産業大学デザイン工学部准教授
小原公輔氏 / 河内いえ・まち再生会 理事
申込み：2020年12月18日(金) 9:30~
電話072-713-0004(9時~17時)

にじいろのネジ
ワークショップ
ネジと工具で木製カメラをつくらう!
モノづくりに必要な製造と工具の種類や使い方を学ながら
自分だけの木製カメラをつくらうよ。
2021年1月17日(日)

場所：旧河内町民会館
午前部 10:00 - 13:30
午後部 13:00 - 16:30
対象：5歳から小学6年生まで(全員保護者同伴)
定員：午前、午後の部とも 各10名
参加費：300円(材料費)

お申込みは、
2020年12月18日(金)
9時30分より受付開始
電話または河内町民会館ホームページより

展示・イベント

古民家で年末年始を遊びつくせ!
「ピニャータ作り&年始の遊び体験」
2020年12月13日(日)

にじいろのネジ モノづくりワークショップ
「ネジと工具で木製カメラを作ろう」
2021年1月17日(日)

「河内の古民家展」
2021年1月15日(金)~2月14日(日)

「古民家再生講座」
2021年1月24日(日)

「論語の素読会」
毎月第2・第4土曜日

※休館日・開場時間等はP12「イベントカレンダー」にてご確認ください。



東大阪市指定文化財 旧河澄家 ニュースレター

もくじ

- 04 特集—昔の道具展—
- 06 日下の噺—丹波神社と御所ヶ池—
- 08 イベントレポート
 - 7/5 七夕飾り作り&コンサート
 - 7/26 東大阪のモノづくり講演会
 - 8/30 おりがみ講習会
 - 9/13 落語でたどる昔のくらし
 - 9/21 古代体験会 はにわをつくろう!
- 近畿大学峰滝ゼミ REPORT
 - 8/23 竹の水鉄砲づくり
 - 10/11 旧河澄家の秋祭り 古民家 de ハッピーハロウィン&だんじり囃子
- 10 Pick Up
 - 万葉の花写真展
 - 祭礼展
- 12 イベントカレンダー

旧河澄家の自然



梨の花



梨の実

旧河澄家北側には梨の木があり、毎年4月頃には白く美しい花を咲かせ、初夏には小さい実をつけます。梨はバラ科ナシ属の植物で日本古来の和なしの他、中国なし、洋なしに分類されます。和なしは中国を原産とし、日本の本州、四国、九州に生育する野生種「ヤマナシ」を基本種としています。梨が登場する文献としては『日本書紀』にある西暦693年の持統天皇の詔があります。その中で米・麦・粟、稗、豆などの五穀の他に、栗や梨などが奨励され、穀物が取れないときの食料となり得る果実として認識されていたと考えられます。万葉集第十巻にも「露霜(つゆしも)の寒き夕(ゆうべ)の秋風に もみちにけりも 妻梨の木は」とあり、梨に“無し”をかけて「妻梨の木」は「妻無し」の意味で歌われています。

昔の道具展

村人の日常

江戸時代、村人たちは日常の生活として米や綿、菜種や麦などを作っていました。菜種は主に肥料代を調達するために育て、麦は村人の食料として重要でした。その他にもそばや粟、菜大根、そらまめ、大豆、いもなども自給のために栽培していました。そして、特に重要にしていたのが綿でした。耕作地において一部の土を掻き揚げえて嶋畑を作り、低い部分には稲を、高い部分には綿を植える「半田」とよばれる土地を作り、水田化された土地でも育てられるほどたくさんの綿を育てていました。



展示の様子(農村の暮らし)

庄屋の仕事

庄屋は、年貢を納入するなど領主とのやりとりを行う一方で、村内の人々に対しての仕事も数多くこなしていました。例えば、喧嘩の調停や不法者の取り締まり、犯罪への対処などといった村の平和維持に努め、村人の健康管理（熱病対策、薬の調合）を行い、災害時などの道や橋、堤防の普請、人別帳の作成などをこなしました。また、日常の仕事として米、綿などの農作業にも励んでいました。

今回の展示では、河澄家所蔵の民具を通して、農村の暮らしと、庄屋の仕事や暮らしについてを紹介しました。

庄屋、河澄家

河澄家は江戸時代、日下村（現在の東大阪市日下町）の庄屋を代々務めた家でした。日下村は慶安年間頃（一六四八年〜一六五二年）においては、約千石を有する村で（善根寺村と分かれてからは七百石）、河澄家は村内で約五〇石以上を所有した三つの家のうちの一つでした。

現在、河澄家所蔵の民具は、衣食住の道具をはじめ、茶道や茶器といった趣味の道具などさまざまな道具が残っています。

旧河澄家では二〇二〇年五月十二日から九月二十七日までの間、「昔の道具展」を開催しました。今回で三度目の公開となった旧河澄家の蔵にて、河澄家所蔵の民具約百点を展示しました。



展示の様子(庄屋の仕事と暮らし)

体験コーナー

今回の展示では、昔の道具をもっと身近に感じていただけるよう体験コーナーを設けました。



碓またを使って ワラ打ちを してみよう！

碓で打つことでワラは柔らかくなるため、ぞうりを作るため、まずワラ打ちから始めます。また、碓は糸や布を柔らかくしたり、ツヤを出したりするために使います。

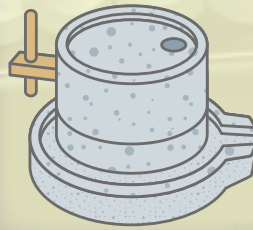
昔のアイロンに 触れてみよう！

現在のアイロンに当てるものとして、江戸時代は火熨斗、明治時代からは炭火アイロンが使われ始めました。火熨斗は鉢の部分に炭を入れ、熱くしてからシワを伸ばしました。炭火アイロンは胴の部分に炭を入れ円筒形のつつから煙を出すしくみとなっています。

昔の道具体験会

(二〇二〇年六月七日開催)

当イベントでは、主屋にて河澄家を紹介した紙芝居、蔵にて展示「昔の道具展」の案内、そして土間などで石臼挽き、綿織り、火打ち石、ワラ打ちなどの体験を行いました。参加者の方々は、普段触ったり使ったりしない道具を身近に感じたことが良かったとの声や、昔の道具を実際に使ってみて、昔の人の大変さに気付き、知恵にも感心しましたとの声をいただきました。実際に昔の道具に触れてみて、何か新たな発見があったことを嬉しく思います。



提灯の明かりを 見てみよう！

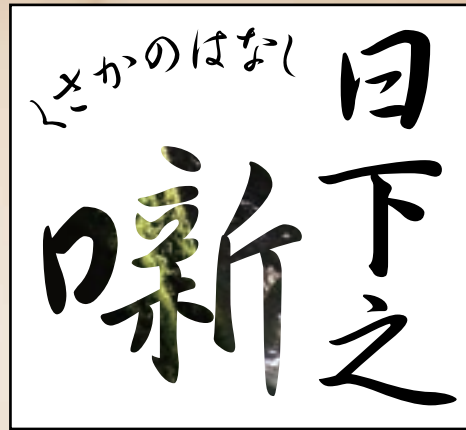
展示した提灯は、弓張り提灯というもので、竹の弓で上下を引っ張り、手持ちや地面に置いて使用するものです。使用しない時は、たたくんで収納箱にしまっていました。提灯の明かりは、蛍光灯など現在使用されているさまざまな明かりに比べて明るくはなく、足元を照らす程度でした。

河澄家の蔵と民具

展示「昔の道具展」の会場とした蔵（左の写真）は、旧河澄家敷地北側に位置し、縦約五メートル、横約十一メートル、切妻屋根に平入りの二階建ての造りとなっています。内外の壁には白漆喰が塗られ、窓は全部で六つ（一階に三つ、二階に三つ）あり、外からの光を最小限に抑える工夫がされています。江戸時代後期頃、河澄家には七棟の蔵があったことから、現存する民具の他にも数多くのものがあつたと考えられます。現在は展示会場とした蔵と、その西隣にある蔵との二棟のみを残し、所蔵民具は約一二〇点となっています。現存する民具は、河澄家やこの地域の歴史を知るうえで大変貴重な資料となっています。



—歴史コラム—



豊かな自然と文化の街、日下
生駒山麓～日下地域、河澄家の
過去から現在に至るまでのおはなし

【丹波神社と御所ヶ池】

日下町一丁目には丹波神社（たんばじんじや）があります。こ

の神社には江戸時代初期の寛永十一年（一六三四年）大阪西町奉行に任じられ、河内国に三千石を知行して日下村領主となった曾

我丹波守古祐（そがたんばのかみひさすけ）が祀られています。

丹波守は数々の善政を敷き、《丹波さん》と呼ばれ今も親しまれています。生駒山西麓に位置する当時の日下村は谷川の乏しい水に依存しているために、旱魃（かんばつ）の被害を受けることがしばしばありました。

日下村の領主となった丹波守は、日下村の主要な用水溜池の一つであった御所ヶ池（ごしよがいけ）の拡張、改修工事を領主が費用を負担する御入用普請（ごいりようふしん）によって慶安三年（一六五〇年）に実施したという記録が残っています。

丹波守は御所ヶ池だけでなく日下村の他の主要な用水溜池であった新池の囲堤七十八間の普請も明暦三年（一六五七年）に行つたとの記録も残っています。また丹波守は風流を愛する人で庭づくりの才能があり、日下村庄屋であった河澄家の奥座敷である棲鶴楼（せいかくろう）庭園や、共に相庄屋を務めた森家庭園の鳴鶴園（めいかくえん）をつくらせたものと伝えられています。丹波守は万治元年（一六五八年）に西町奉行の職を辞して間もなく日下村にて没したと伝えられ、年貢徴収のみの領主とは異なり、自ら知行地と深く関わって直接統治を行った良き領主として、日下村の農民から神として崇められ、語り継がれています。

丹波守の善政に感謝した日下村農民は御所ヶ池の堤に墓を立て、後に日下村庄屋の河澄家、森家両家によって移し替えられ、墓石を祠の中に祀って丹波神社として今も存続しています。

寛政十年（一七九八年）に目の療養のために日下村に隠棲した『
雨月物語』の著者上田秋成は、日下村を訪れた際に文人たちと交流
したという記録が残されています。視力が弱くなった自らの書を余
斎盲書と書き残して彼は、棲鶴楼を題材にした次の歌を詠んでいま
す。

《老松棲白鶴翻不避茶畑》

こゝのつの 沢に鳴きたる 蘆（あし）たづを

すめとて宿に 松は栽けむ

うゑしはいにしへ 曾丹君の風流也

余斎盲書

この歌から、棲鶴楼の庭園には当時松が植えられ、その松は棲鶴楼
を作らせたと伝えられている曾我丹羽守古祐（曾丹君）が植えたよ
の言い伝えがあったことがうかがえます。

江戸時代に描かれたとされる河澄邸屋敷絵図には、現存しない松の
木2本が棲鶴楼西側に描かれており、上田秋成が曾我丹羽守古祐の
風流也と愛でた棲鶴楼庭園の情景を今に残しています。

また上田秋成は彼の随筆『山霧記』に、「此岡のべに御所ヶ池と
て心広く掘りたるが有るを、夏は必ず田にそゞぐが、この垣もとを
過ぎて、をちこちにみくまりす也と、此池はいにしえ慶安の比、大
坂の在藩曾我丹波守どのと申せしが掘らせて、森の家に領せさせし
由也、千町の田は是に養はれて、百五十余年こなたの国津宝とな
ん成りぬる事のかたじけなさよ」と記しています。現在、御所ヶ池
は住宅地となっていますが、丹波守によって拡張・改修されたこの
池は、以降三百五十年以上の間、夏になると日下村の多くの田畑
を潤してきた地域の宝であるとして、上田秋成は丹波守の功績を称
えています。



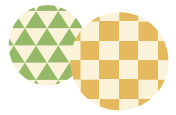
丹波神社



御所ヶ池 (googlemapより)



河澄邸屋敷絵図 (江戸時代)



七夕飾り作り&コンサート

二〇二〇年七月五日開催

七夕に因んで催されたイベントの第一部では、うちわに七夕飾りを貼り付けてオリジナルのうちわを作る催しを行いました。また会場に設けられた笹にそれぞれの願い事を書いた短冊をつるして笹飾りを作りました。

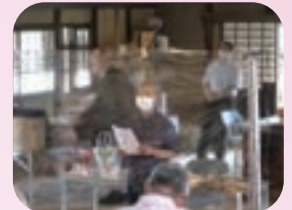
その後第一部では地元奈良を拠点に近畿圏内を中心に演奏活動を行っている「まほろばclub」に公演いただきました。参加者にはオリジナルの曲や懐かしい曲の鑑賞で七夕イベントを楽しんでもらいました。



まほろばclubコンサート



七夕飾り作り



工場を記録する会 岡本好行氏

東大阪のモノづくり講演会

二〇二〇年七月二十八日開催

東大阪のモノづくり展の開催に合わせて、工場を記録する会の岡本好行氏と高井田まちづくり協議会の川勝親氏とによる東大阪のモノづくり講演会を開催しました。岡本氏からは東大阪のモノづくりを支える外国人労働者の現状と課題についてお話しいただいた後、川勝親氏からは東大阪の工場の姿を写真に撮り続けモノづくりの大切さや技術を残す活動を具体例を交えて講演いただきました。東大阪のモノづくりの大切さと面白さに参加者が直に触れることができる貴重な講演会となりました。



高井田まちづくり協議会 川勝親氏

おりがみ講習会

二〇二〇年八月三十日開催

地域の折紙創作家坂上慧三子氏を講師にお招きし、おりがみ講習会を開催しました。講習会では講師からの折り方の指導の後、参加者は用意された折り紙で蓮の花や葉を折って台紙に貼付けました。最後に講師に手書きの言葉を入れてもらい作品に仕上げました。参加者からは、素敵な作品に仕上がったとても嬉しい、という感想が聞かれ、折る・たたむ・つぶす等の様々な技法で仕上げた、おりがみづくりを楽しんでいただきました。



おりがみ作品



おりがみ講習の様子



落語でたどる昔の暮らし

二〇二〇年九月十三日開催

本イベントでは落語家の笑福亭純瓶氏をお招きし、牛の丸薬(がんじ)を公演いただきました。また上方晰研究家の狐狸窟彦兵衛氏には、笑福亭純瓶氏の落語の晰に登場する江戸時代の生活や文化についてスライドの絵や写真を用いて解説いただきました。参加者からは、初めて生で聴いた落語で、何気なく理解していた言葉の解説があつて分かりやすく楽しかったとの感想をいただきました。



狐狸窟彦兵衛氏の解説



笑福亭純瓶氏の落語公演



はにわ作品



はにわづくりの様子



古代体験会

はにわをつくらう！

二〇二〇年九月二十一日開催

近つ飛鳥博物館の指導協力により、古代体験会 はにわをつくらう！ を開催しました。まずは古墳時代と埴輪についてスライドを使って説明を受けた後、粘土で自分の好きなはにわを作り、スクリーンに映し出された各人の作品を鑑賞しました。作ったはにわ作品は近つ飛鳥博物館で焼いてもらい約1ヵ月後には出来上り、参加者は焼き上がった作品を見て楽しそうに手に取っていました。

峰滝ゼミ

REPORT



近大 畿学

令和二年八月二十三日、「夏を楽しもう！竹の水鉄砲づくり」イベントを実施しました。ソーシャルダンスを保つために新しい手法として水鉄砲作りの指南書を配布し、製作して頂きました。作り終わった後は屋外に設置した的に向かって発射してもらい楽しんで頂きました。私たち近大生は企画、指南書の作成を行い、イベント実施への土台作りを行いました。



令和二年十月十一日、「旧河澄家の秋祭り」イベントを共催しました。ハロウィンが近いということでパンプキンマンの衣装とおぼけ作りを実施しました。夏イベントに続き指南書を見ながら製作してもらいました。楽しみながら製作をしてもらいました。同じ材料でも一人一人違うものが出来上がっていて、個性溢れるハロウィンイベントになったのではないかと思います。その後は、パンプキンマンの衣装をしてもいい、ダンスをとって写真撮影を行いました。今後もダンスをとりながらも楽しんで頂けるイベントを行います。



四季の花々と歌に親しむ 万葉の花 写真展



二〇二〇年

六月二〇日

～七月十九日開催

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、長期にわたる臨時休館となりましたが、感染予防対策を行い、五月二十三日(土)より再開いたしました。再開後、企画展示「万葉の花写真展」を六月二十日から七月十九日まで開催。

「新装改訂版 万葉の花 四季の花々と歌に親しむ」(青幻舎)の著者 片岡寧豊氏が、万葉集に詠まれた植物と歌をわかりやすく紹介。解説入りパネルは、片岡寧豊氏撮影の野辺の花や景色の写真と解説文。同時に「奈良花写真の会」の会員の皆様が長年撮り続けてきた万葉集に歌われている植物の写真27点とともに展示しました。「万葉の花写真展」を通して、現存する最古の歌集である万葉集に詠まれた万葉びとの美しい心と、植物に触れるとともに、現代も咲く、四季折々の野辺の花々の写真、旧河澄家にも残る万葉の花をお楽しみいただきました。令和をきっかけに、万葉集に触れるよい機会となりました。



かたおか ねいほう 片岡寧豊氏

万葉の花研究家、万葉花寧豊会主宰。華道家、国内外の花博やイベント等に出演・担当し、国際コンクールで受賞多数。テレビ・ラジオ出演・講演・エッセイ執筆等幅広く活躍。『新装版 やまと花万葉』『万葉の花をいける』『新装改訂版 万葉の花』『野の花をいける』など著書多数。



万葉の花写真展 展示風景



カヤの写真と解説パネル

カヤの巨樹

旧河澄家の主庭の東隅には、常緑針葉樹の巨木「かやの木」があります。万葉の花の講座をもつ、片岡寧豊氏が樹齢約500年のかやの木がある旧河澄家を訪れた。縁で、今回の展示・イベントの開催に繋がりました。「新装改訂版 万葉の花 四季の花々と歌に親しむ」(青幻舎)にも、万葉集に歌われている花のひとつ、「日下の旧河澄家にあるカヤの巨樹」としてご紹介いただいています。



万葉の花観察
説明をする片岡寧豊氏



生花大作

万葉の花講習会

万葉の花写真展の期間中、六月二十八日に万葉の花研究家としてもご活躍の片岡寧豊氏による万葉の花講習会を開催。万葉びとが花に託した想いに触れました。万葉集は、現代人が忙しさのあまりに忘れがちな自然への思いやり、同時に人への思いやりの気持ち、ふと思いつきしてくる歌集です。日本最古の歌集で、その中でも花を中心とした歌は、千五百余首もあり、百数十余りの種類の植物が登場しています。旧河澄家の庭にある万葉の花である、カヤの葉と実、アジサイの花と葉、ナシの実を観察し、身近にある万葉の花の魅力に触れました。万葉集の歌に詠まれた万葉びとの美しい心と植物に触れるとともに、旧河澄家にも残る万葉の花を観察、お楽しみいただきました。万葉の花講習会をきっかけに万葉集に親しむ良い機会となりました。



主屋にて万葉の花講習会



旧河澄家のある万葉の花の観察

祭礼展

二〇二〇年
一〇月三日
十一月三日開催

今回の「祭礼展」では大宮頭秀氏のコレクションである布団太鼓及び、だんじりのミニチュア版大小合わせて二十台を展示したのに加えて、日下自治会・日下太鼓台新調委員会のご協力により、先代日下布団太鼓に使われていたふとん締め刺繍と土呂幕彫刻の実物の展示を行いました。

今年は新型コロナウイルスの影響で各地のお祭りの多くが中止される状況の中でミニチュア版布団太鼓の展示や昨年の石切神社例祭の映像を見ながらお祭りの雰囲気を楽しんでいただける展示となりました。



祭礼展展示正面



先代日下布団太鼓刺繍と彫刻



石切神社例祭説明パネル



祭礼展展示全景

ふとん締め刺繍



源平の合戦 山崎の合戦
源頼朝 平清盛
明智光秀 豊臣秀吉

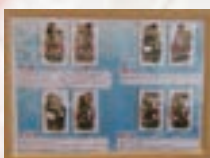
土呂幕の彫刻



源平一の谷の合戦 (正面) 熊谷次郎直実 (後面) 佐々木高綱 (向左) 平敬盛 (向右) 梶原源太景季

ミニチュア版刺繍と彫刻

宮頭秀氏所蔵の日下布団太鼓ふとん太鼓のふとん締め刺繍と土呂幕の彫刻ミニチュア版を展示しました。



ふとん締め刺繍ミニチュア版



土呂幕彫刻ミニチュア版

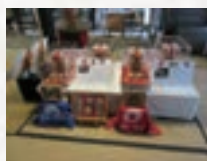
日下布団太鼓が新調されるまでの昨年まで先代日下布団太鼓に使われていたふとん締め刺繍の内、山崎の戦いの豊臣秀吉と明智光秀、源平の戦いの源頼朝と平清盛の刺繍計四点を壁面展示した他、源平の合戦をテーマにした土呂幕の彫刻四点（源平宇治川の合戦と源平一の谷の合戦）を日下自治会・日下太鼓台新調委員会のご協力により展示させていただきました。

先代日下布団太鼓刺繍と土呂幕彫刻

石切神社氏子地区布団太鼓
石切神社の氏子地区である日下、芝、辻子、植附のミニチュア版布団太鼓四台を比較して見ることが出来ます。



日下、辻子地区布団太鼓



芝、植附地区布団太鼓

枚岡神社氏子地区布団太鼓

枚岡神社氏子地区である、宝箱、五條、喜里川、河内、額田の布団太鼓五台が陳列されました。



宝箱、五條地区布団太鼓



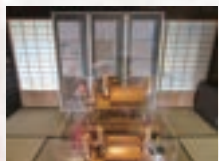
喜里川、河内、額田地区布団太鼓

大阪型だんじりの展示

大阪型だんじりのミニチュア版三台とだんじりに関する解説パネルが展示されました。



大阪型だんじり展示



だんじり解説パネル展示



〈2020年12月〜〉 旧河澄家 イベントカレンダー



※イベント日程は本誌発行時の予定ですので、都合により多少前後する可能性があります。詳しくはお問合せください。

にじいろのネジワークショップ ネジと工具で木製カメラづくり

1/17(日)



予約優先
参加費 300円

ネジを中心としたものづくりの楽しさと大切さを伝えるプロジェクト『にじいろのネジ』ワークショップ専用部品（バネとネジ）とキットを組み合わせ、木製のカメラを制作します。ものづくりに大切な創造性と工具の種類や使い方を学びながら、自分だけのカメラを作ります。ぜひご家族でご参加ください。

河内の古民家展

1/15(金)
〜2/13(土)



枯池式枯山水庭園

河内地方の代表的な古民家紹介や、旧河澄家住宅所蔵の資料を紹介する展示。河内地方の古民家の写真と構造的特徴等の紹介、旧河澄家主庭 枯池式枯山水庭園（江戸時代初期）の解説をします。日本の住文化、古民家の魅力を再認識していただければと思います。

※詳細はお問合せください。

論語の素読会

毎月
第2・第4
土曜日



参加費 無料

声に出して文字を読む（素読）楽しさを一緒に体感しませんか。論語とは、孔子とその弟子の中でも優れた人物たちの言語をまとめた書物であり、心を打つ章句がぎっしりと詰まっています。奥座敷 樓鶴楼にて、心豊かな時間を過ごしましょう。

※詳細はお問合せください。

古民家再生講座

1/23(土)



奥座敷 樓鶴楼 主庭より

古民家の歴史や特徴等のお話、古民家の再生技術・事例を紹介、解説します。毎年ご好評いただいている古民家再生講座です。ぜひこの機会に古民家について一緒に学びませんか。

※詳細はお問合せください。

きゅうかわずみけ

東大阪市指定文化財 旧河澄家

所在地 〒579-8003 大阪府東大阪市日下7丁目6-39
 電話番号 TEL/FAX 072-984-1640
 ホームページ <http://www.kyu-kawazumike.jp>
 開館時間 午前9時30分〜午後4時30分
 休館日 月曜日（祝日の場合は翌日）
 祝日の翌日・12月29日〜1月3日
 入館料 無料
 駐車場 5台（無料）
 満車の場合は、近鉄けいはんな線「新石切駅」周辺の有料駐車場をご利用ください。

◆アクセス方法

- 公共交通機関をご利用の場合
- ・近鉄奈良線「石切駅」より徒歩約20分
 - ・近鉄けいはんな線「新石切駅」より徒歩約20分
 - ・近鉄奈良線「東花園駅」または近鉄けいはんな線「新石切駅」より、近鉄バス「四條畷行き」または「住道行き」に乗り「南日下」バス停より徒歩15分
 - ・JR学研都市線「住道駅」または「四條畷駅」より、近鉄バス「東花園駅前行き」に乗り「南日下」バス停より徒歩約15分

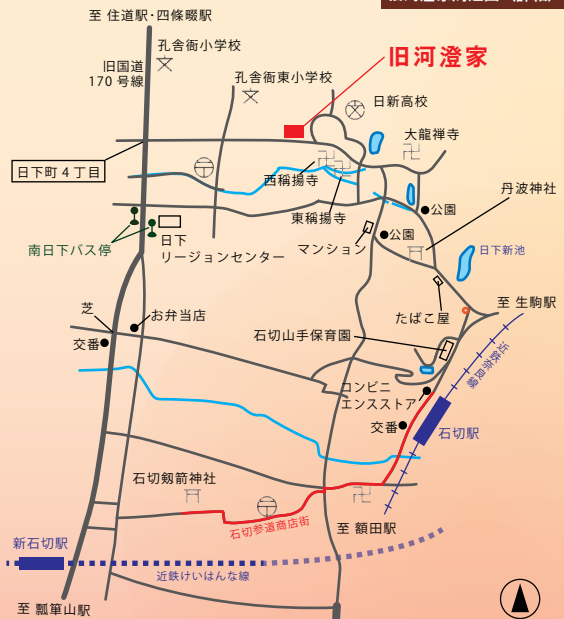
マイカーをご利用の場合

- ・旧国道170号線「日下4丁目」交差点を東へ、約600m直進

◆指定管理者 株式会社アスウェル TEL: 072-939-7861
 FAX: 072-952-4340

URL <http://www.asuwell.co.jp>
 E-mail mail@asuwell.co.jp

旧河澄家周辺図（詳細）



株式会社アスウェルは、総合ビルメンテナンス会社として、次の認証を取得しています。



JISQ0001:2015/JISQ0001:2015/ 金業事務所
 JISQ14001:2015/JISQ14001:2015/ 金業事務所
 建物総合清掃安全管理・施設保守管理・建築物
 ・衛生管理・人材派遣・警備保守・指定管理

